

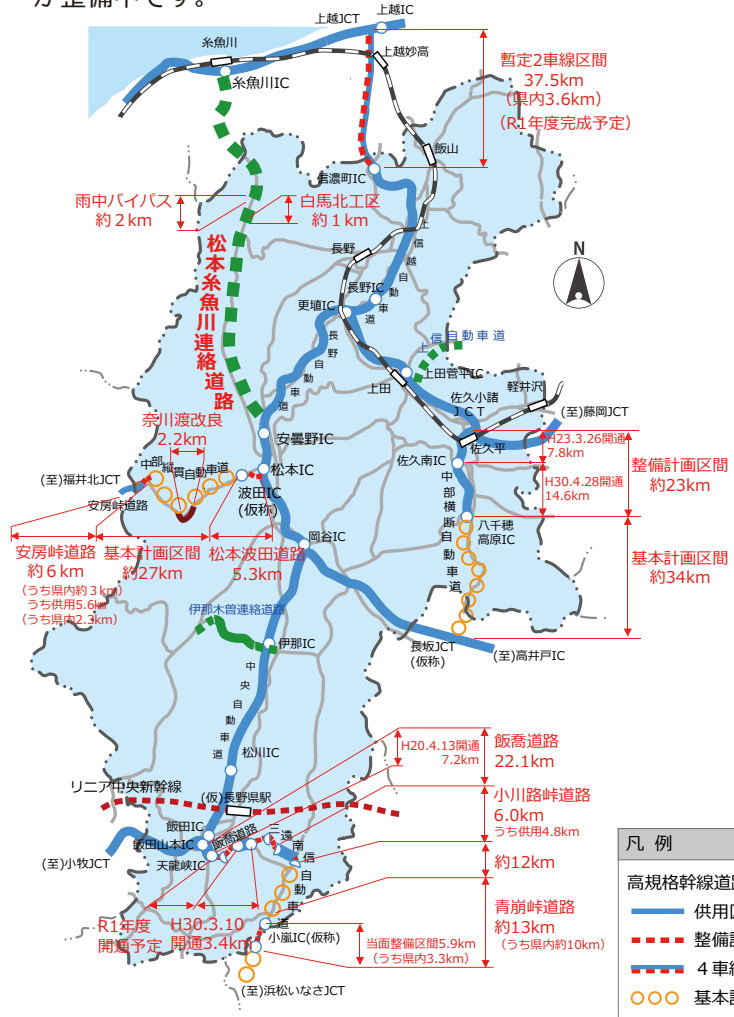
■ 松本系魚川連絡道路とは

松本系魚川連絡道路

長野自動車道と北陸自動車道を連結することで高速道路を補完し、高速交通ネットワークの空白地域に、より高い走行サービスを提供する道路です。

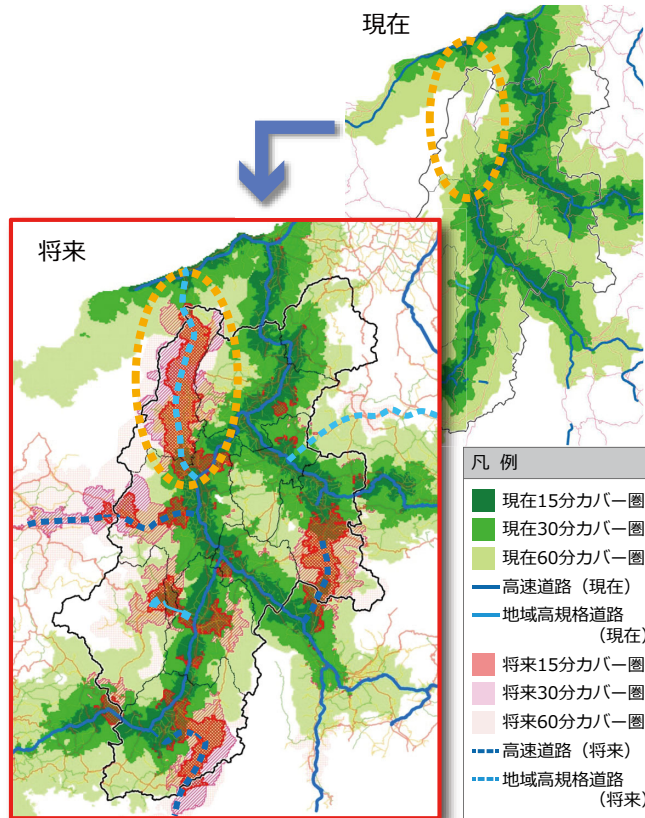
長野県の高規格交通ネットワーク整備の状況

- 長野自動車道、中央自動車道、上信越自動車道が全線供用
- 中部横断自動車道、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道が整備中です。



高速交通ネットワークを整備すると

- 高速交通ネットワークへの15分、30分アクセス範囲が拡大



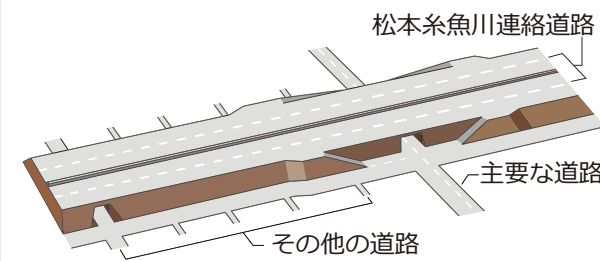
■ 地域高規格道路の構造要件見直し(平成15年度)と県内全線の整備方針(平成20年度)

- 平成15年度に地域高規格道路の構造要件が見直し、現道の活用が可能になりました。

見直し前

- ◇サービス速度 60～80km/h
- ◇車線数 4車線以上
- ◇現道活用 要件なし

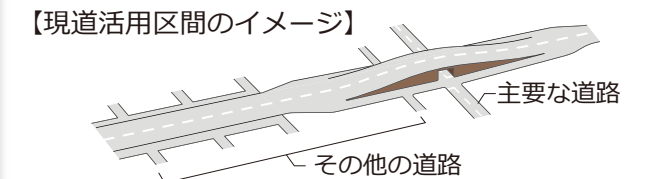
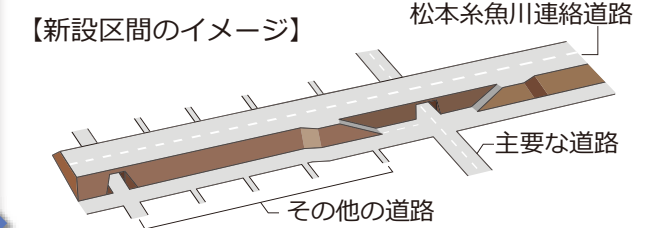
【H15以前のイメージ】



- ◇原則立体交差
- ◇沿道アクセス 禁止、制限
- ◇歩行者・自転車道 進入禁止

見直し後

- ◇サービス速度 概ね60km/h
- ◇車線数 2車線以上
- ◇現道活用可能※



- ◇平面交差も可能※
 - ◇沿道アクセス アクセス制限不要※
 - ◇歩行者・自転車道 分離により設置可
- (※サービス速度概ね60km/h確保可能な場合)

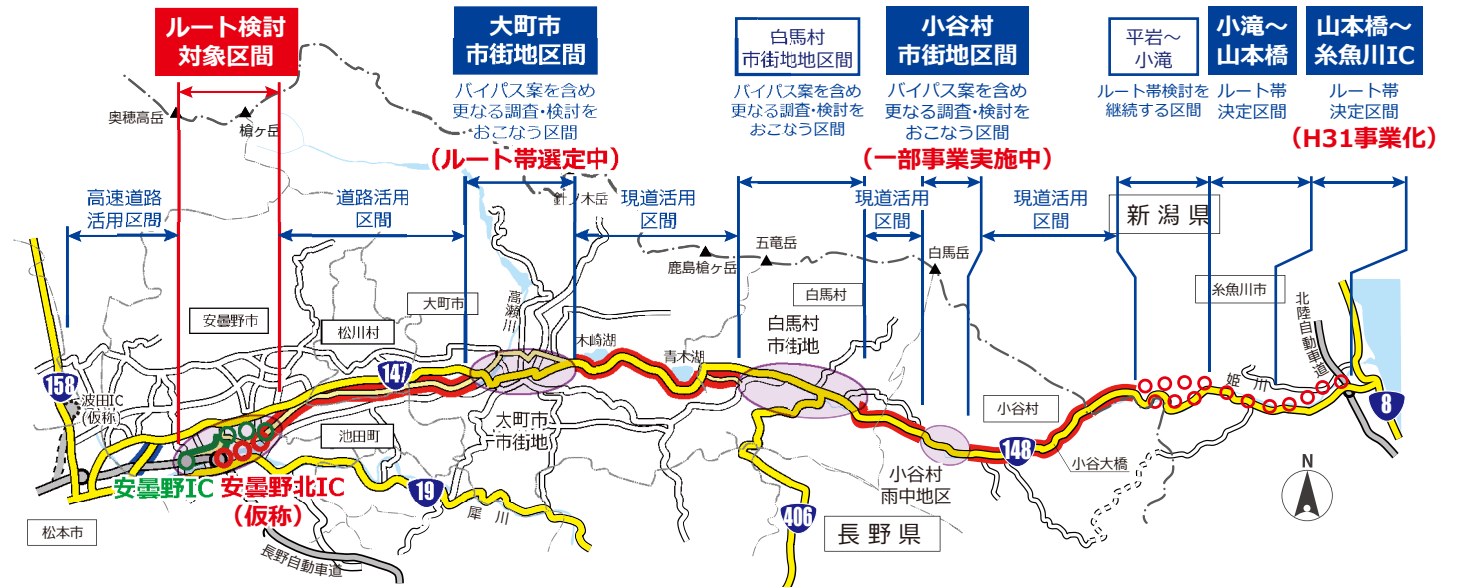
- 長野県では、構造要件の見直しを踏まえ、平成20年度に県内全線の整備方針を公表しました。

既存の道路をできる限り活用することを基本

- サービス速度は路線全体で概ね60km/hを目標
- 車線数は原則2車線とし、主要な道路との交差点では立体化を検討

■ 松本系魚川連絡道路 全体の進捗状況

- 計画全体約100kmのうち、現道活用区間は約6割です。
- 大町市、小谷村、糸魚川市でも事業が進んでおり、特に糸魚川市の区間では今年度事業化が決定しました。



■ これまでの経過

H6「候補路線」H10「計画路線」H11「調査区間」に指定

H12・13 住民説明会、意見交換会を開催

H15 地域高規格道路の新たな構造要件が示される
・サービス速度は路線全体で概ね60km/h
・車線数は原則2車線以上 など

H20 県内全線の整備方針を公表
・既存の道路をできる限り活用することを基本
・「豊科北」ルートが一番有利な案と評価

H23(仮称)安曇野北ICを起点とした概略ルート案を公表

H28 計画案(安曇野北IC(仮称)～大町市街地南)を公表
・起点を安曇野北IC(仮称)とし、高瀬川右岸道路への接続を公表

H30 今後の進め方、ルート案の再検討を公表

■ 地域の課題

安曇野市内の交通の状況

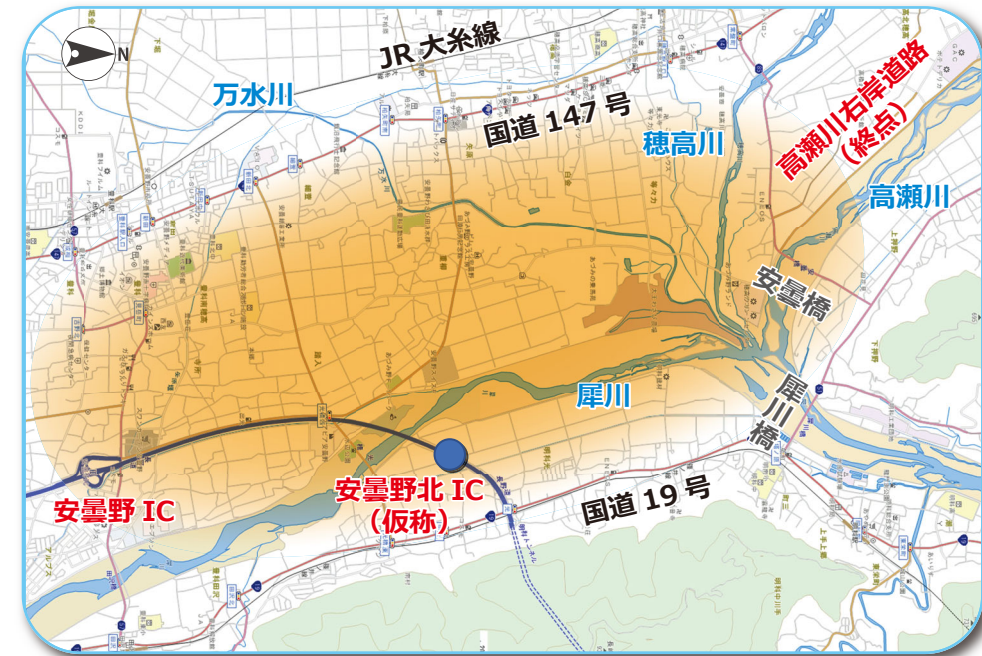


● 課題の整理

分野	松本糸川川連絡道路の上位計画等の位置付け	現状と課題	道路整備により期待される効果	
道路	交通	広域	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路と一体となった広域的な高速交通ネットワークの構築 本州中央部広域交流圏の構築 信州まつもとと空港へのアクセス性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 中信地域と北陸地方との交流、連携の強化促進 大北地域、北陸地方への移動時間短縮と定時性の確保 高速交通ネットワークの空白地域の解消
		地域	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野 IC ~ 安曇野橋南間等の周辺道路の渋滞 渋滞や通過車両の通行による日常生活への影響 生活道路への通過交通の流入 市北部から長野道へのアクセスが弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野 IC 周辺の道路の渋滞緩和 通勤、通学等日常生活の利便性向上 高速道路アクセス性の向上
	事故	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の防止 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地における交通事故の多発 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量の転換による交通事故減少
地域	観光	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光に資する道路整備 観光・産業に不可欠な社会基盤整備 	<ul style="list-style-type: none"> 観光シーズンにおける渋滞 広域的な周遊ルートの確保 	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光の振興 新たな観光ルートの創出
		産業	<ul style="list-style-type: none"> 観光交流・物流機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 物流の円滑化への対応
	医療	<ul style="list-style-type: none"> 医療に不可欠な社会基盤 	<ul style="list-style-type: none"> 救急時の搬送時間 	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送の円滑化、迅速化
	環境	<ul style="list-style-type: none"> 良好な環境・景観への配慮・活用 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境、優良農地、景観等の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 今後のルート検討時に配慮
防災	<ul style="list-style-type: none"> 防災に不可欠な社会基盤 災害時の代替路の確保 緊急輸送路の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における輸送路の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 複数ルートの確保 ルートの信頼性向上 	

■ 今後の検討範囲

- 「安曇野北 IC(仮称)」を新設し接続する案のほか、「安曇野 IC」に接続するルート帯を含め、検討範囲を犀川の左右岸に広げ、高瀬川右岸道路へ接続するルート帯を複数案検討します。



■ 今後の進め方

計画検討手順

第1段階 今後の進め方

令和元年6月9日 説明会

- 全体スケジュールの提示
- 地域の皆様と意見交換等を行いながら、計画を決定していく手法の提示

第2段階 課題共有、必要性確認

令和元年7月28日 開催予定

- 社会情勢の変化を踏まえ、解決すべき課題を具体化し、道路計画の目標を設定
- 地域へのメリット、デメリットを含めた道路計画の必要性を確認

第3段階 複数案、評価項目設定

- 複数ルート帯案の提示(パース図など、計画道路のイメージができるものを提示)
- ルート帯案選定時の判断材料となる評価項目を提示し設定

第4段階 複数案の比較評価

- 第3段階で設定した評価項目により、複数ルート帯案を比較評価
- 項目ごとに○×等により評価し、ルート帯案の優位性を判断

第5段階 ルート帯案決定、対応方針決定

- 評価結果を踏まえ総合的に判断し、最適ルート帯案を決定
- 今後の設計で配慮する対応策(景観や環境等の保全、アクセス道路などの関連道路事業等)を決定

今年度内に第5段階までを目標に進めます

○ 次回説明会 7月28日

課題の共有・必要性の確認、道路計画の目標設定等について説明し、ご意見を伺いたいと考えています。

○ 皆さまのご意見をお寄せください

長野県 安曇野建設事務所 整備課 計画調査係

電話：0263-72-8308(直通) FAX：0263-72-8882
E-mail：azumiken-seibi@pref.nagano.lg.jp

安曇野市 都市建設部 監理課

電話：0263-71-2332(直通) FAX：0263-72-3569
E-mail：kanri@city.azumino.nagano.jp